

報告書抄録

ふりがな	いりえないこいせき							
書名	入江内湖遺跡Ⅱ							
副書名								
巻次								
シリーズ名	一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	2							
編著者名	瀬口眞司・久保田ひかる・中川治美・柳本千鶴・中島経夫・中島美智代・内山純蔵							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課／財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	大津市京町四丁目1番1号／大津市瀬田南大萱町1732番2号							
発行年月日	平成20年（2008年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
いりえないこ 入江内湖	しがけんおひらしいりえ 滋賀県米原市入江	25463	044	35度 18分 45秒	136度 16分 30秒	001120 ↓ 040325	2,125㎡	国道8号米原バイパス 建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物		特記事項	
入江内湖 遺跡	集落	縄文時代早期前葉 ～後期初頭、弥生 時代前期～古墳時 代後期			縄文土器、弥生土器、土師器、 須恵器、土製品、石器、骨角 製品、金属製品、木製品、動・ 植物遺存体			
要約	<p>国道8号米原バイパス建設に伴い、旧入江内湖の北岸に調査区を設けた結果、縄文時代前期中葉ないし後葉までのアシ原状の湿地、縄文時代中期後葉ないし後期初頭までの砂浜だと考えられる包含層を重層的に検出し、石錘や土器片錘、ヤスや釣針を用いた漁労をはじめとする諸活動の痕跡を確認した。</p> <p>また、古墳時代後期までに堆積を終えた砂浜と考えられる包含層や河道を重層的に検出し、土器、鏃の根挟み、金属製の鏃、各種木製品の使用・廃棄の痕跡を確認した。</p>							